

テーブル可変型プロジェクタースクリーン専用 (EPSON プロジェクター用)

取扱説明書

このたびは、お買い上げいただきまして誠にありがとうございます。この「取扱説明書」は、本製品を安全に正しくご使用いただくためのものです。ご使用前に必ずお読みください。また、ご使用中もお手元に置いてご活用いただき、大切に保管してください。

安全上のご注意

製品は安全に十分配慮して設計されておりますが、誤った取り扱いをすると、火災が起きたり人が障害を負うことがあります。事故防止のため下記を必ずお守りください。

注意

下記の注意を守らずに誤った取り扱いをすると
人が障害を負う、または財産に損害を与える恐れがあります。

- すべての止めネジはしっかりと確実に固定してください。けがや破損の原因となります。
- スクリーンボードを昇降するときは、上部に物が無いことを確認してください。破損の原因となります。
- スクリーンボードをチルトするときは、前後左右に人がいないこと、障害物が無いことを確認してください。けがや破損の原因となります。
- テーブルの状態ですクリーンボードを昇降しないでください。
- スクリーンボードをテーブルにするときは、昇降ハンドルでスクリーンボードを一番下に下げたからチルトしてください。

- プロジェクターの設置は、専門の技術者にご依頼ください。正しく設置が行われないと、落下により怪我や事故の原因となります。
- 金具とプロジェクターの取り付け不備により、プロジェクターの落下事故につながるおそれがあります。十分強度のあるワイヤーなどを使って落下防止処置を講じてください。
- 油煙が多い場所や溶剤、薬品が揮発している空間に設置しないでください。また、金具とプロジェクターとの固定部に、油、潤滑剤・洗剤・薬品などを付着させないでください。プロジェクターのケースが劣化、破損し、金具からプロジェクターが落下するおそれがあります。

※詳細につきましてはプロジェクター本体の取扱説明書をご確認ください。

組立前に準備する工具

プラスドライバー

内容物

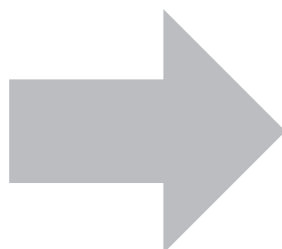
開梱時に必ず内容をご確認ください。

① PJハンガー.....	1 個
② PJアーム.....	1 個
③ タッチユニット取付板.....	1 個
④ PJハンガー固定ノブ.....	3 個
⑤ PJアーム固定六角ネジ(ローヘッド M6).....	6 個
⑥ タッチユニット取付板固定ネジ(M4×14 セムス P=3).....	2 個
⑦ タッチユニット本体固定ネジ(M3×10 セムス P=3).....	2 個
⑧ プロジェクター固定ネジ(M4×10 セムス P=3).....	4 個
⑨ 六角レンチ(小).....	1 個
⑩ スペーサー(EB-700系のみ使用).....	1 個

取り付けるPJの機種を確認する

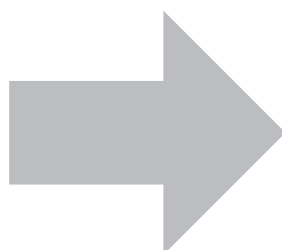
本製品はプロジェクターの機種によって取り付け方法が異なります。取り付け方法が誤っていると、投影画面の調整ができません。下記をご確認いただき正しく取り付けてください。

EB-725Wi EB-760Wi
EB-725W EB-760W
EB-735Fi EB-770Fi
EB-755F EB-770F
EB-750F



3ページ～9ページを
ご覧ください

EB-1485FT
EB-805F
EB-800F



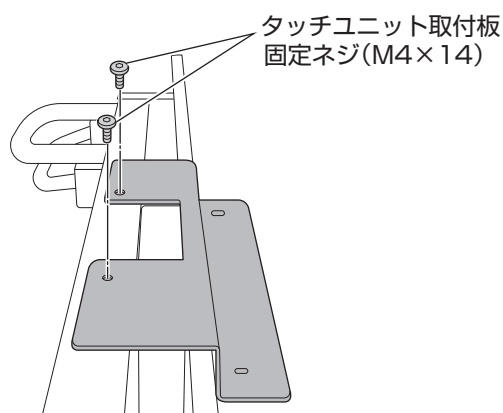
10ページ～16ページを
ご覧ください

タッチユニットを取り付ける

参照 プロジェクターの機種によって、タッチユニット同梱の有無があります。タッチユニットの同梱がない機種は、タッチユニット取付板の取り付けは不要です。

1. タッチユニット取付板をネジ2個でスクリーンボードに取り付けます。

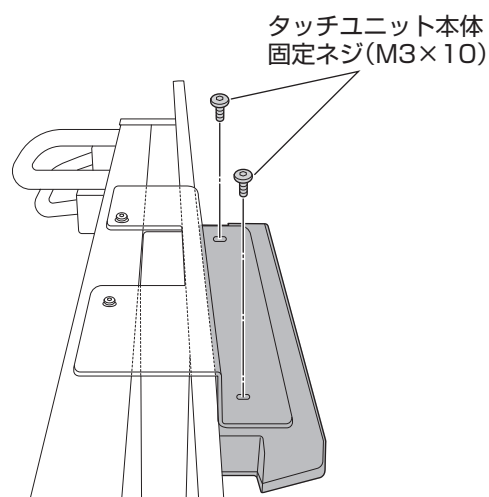
- ③ タッチユニット取付板×1個使用
- ⑥ タッチユニット取付板固定ネジ(M4×14 セムス P=3)×2個使用



2. タッチユニットをネジ2個で取り付けます。

- ・タッチユニットをスクリーンボードに押さえつけながら、密着させて固定してください。

- ⑦ タッチユニット本体固定ネジ(M3×10 セムス P=3)×2個使用



参照 タッチユニットのキャリブレーションは、スクリーンボードをチルトしてテーブルの状態に行ってください。詳細はプロジェクター本体の取扱説明書を参照してください。

PJハンガーをセットする

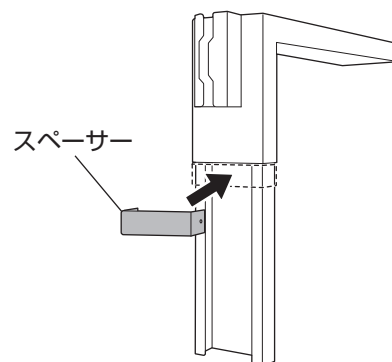
PJアームを取り付ける

EB-725Wi/725W/735Fi/755F/750F
モデルのみ

1. PJアームにスペーサーを貼り付けます。

⑩ スペーサー×1個使用

※EB-760Wi/760W/770Fi/770Fに
スペーサーは使用しません。

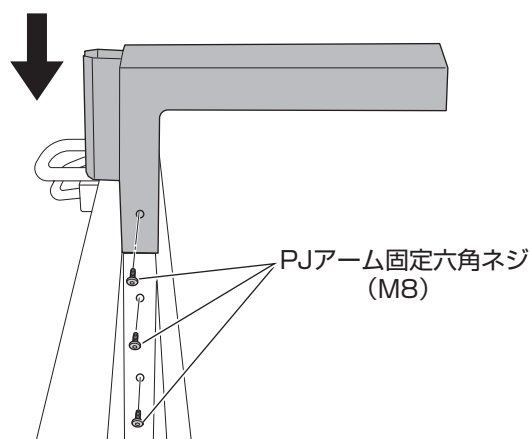


2. PJアームを本体に差し込み、PJアーム固定六角ネジで6か所を固定します。ネジがしっかり締まっていることを確認してください。

⑤ PJアーム固定六角ネジ(ローヘッド M6)×6個使用

⑨ 六角レンチ(小)

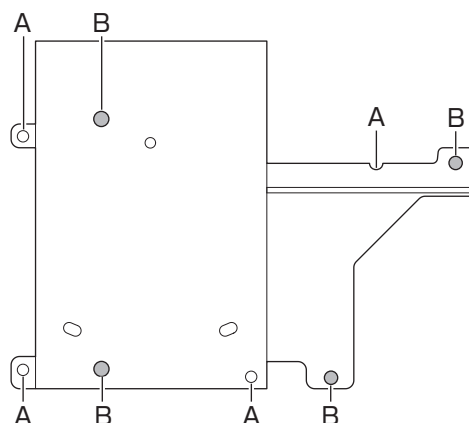
- ・PJハンガーの差し込み口が正面を向くようにセットしてください。



PJハンガーを取り付ける

PJハンガーを取り付ける前に…

EB-700系プロジェクターの取り付けに使用するPJハンガーの取り付け穴は、右記イラストのB位置の4か所です。取り付け穴が誤っていると、投影画面の調整に影響を及ぼします。正しく取り付けてください。



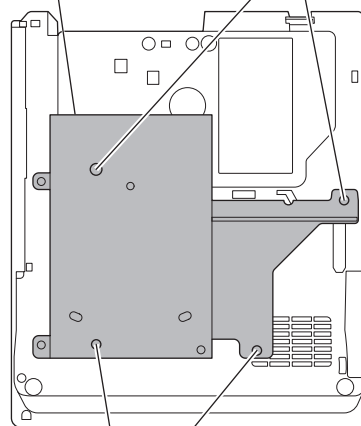
1. PJハンガーをイラストのようにセットします。プロジェクター固定ネジを穴から差し込み、4か所を固定します。ネジがしっかり締まっていることを確認してください。

⑧ プロジェクター固定ネジ(M4×10 セムスP=3)×4個使用

- ・ プロジェクター本体や、作業台にキズが付かないよう注意してください。
- ・ 固定前に、必ずプロジェクターの前後を確認してください。
- ・ PJハンガーを分解しないでください。
- ・ 先端にマグネット付きのドライバーをお使いください。

※ プロジェクター固定ネジのネジ穴には多少あそびがあるため、PJハンガーとプロジェクターが直角になるように取り付けてください。

PJハンガー プロジェクター固定ネジ (M4×10)



プロジェクト固定ネジ (M4×10)

PJハンガーをPJアームに取り付ける

1. プロジェクターを取り付けたPJハンガーをPJアームに差し込みます。

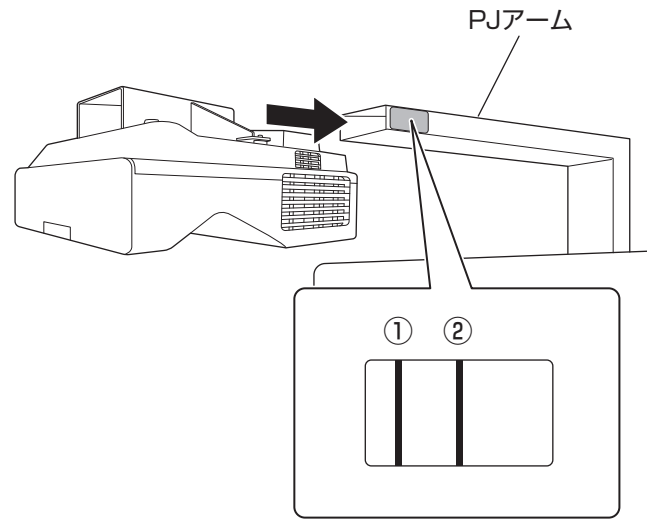
- ・ プロジェクターの前後を確認してください。

EB-725Wi/725W/760Wi/760W
使用時のセット位置

PJアーム側面に表示された「プロジェクターに近い線(①)」に、PJハンガーの先端を合わせてください。

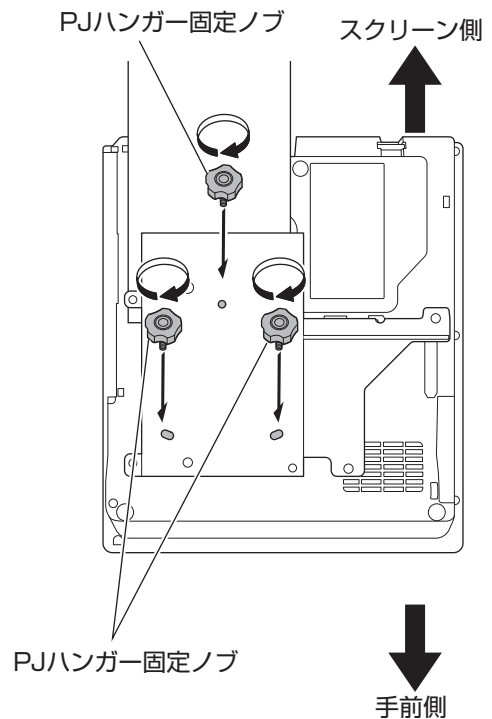
EB-735Fi/755F/750F/770Fi/770F
使用時のセット位置

PJアーム側面に表示された「スクリーンボードに近い線(②)」に、PJハンガーの先端を合わせてください。



2. PJハンガーのネジ穴に、PJハンガー固定ノブを3個差し込んで締めます。

- ④ PJハンガー固定ノブ×3個使用



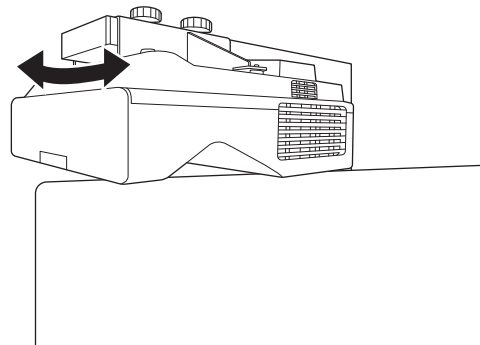
投影画面を調整する

プロジェクターに内蔵されているテストパターンか、パソコンを接続して画像を投影し画面を調整します。プロジェクターにデジタル補正や台形補正などを設定している場合は、すべて初期化して補正されていない状態にしてください。

プロジェクター位置の調整(左右)

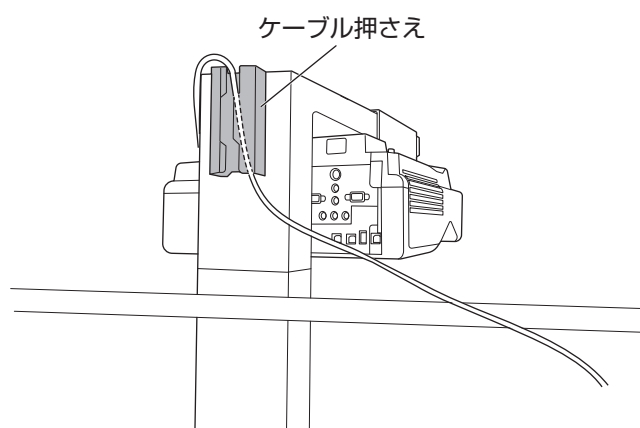
1. プロジェクターの電源をONにして画像を投影します。
2. PJハンガー固定ノブを緩め、プロジェクターを左右方向に動かします。
3. 映像が水平になったらPJハンガー固定ノブを締めます。
 - ・PJハンガー固定ノブを締めるときは、PJハンガーが動かないよう手で押さえてください。

参照 映像の微調整は、プロジェクター本体のデジタル補正機能をお使いください。詳しくはプロジェクター本体の取扱説明書を参照してください。

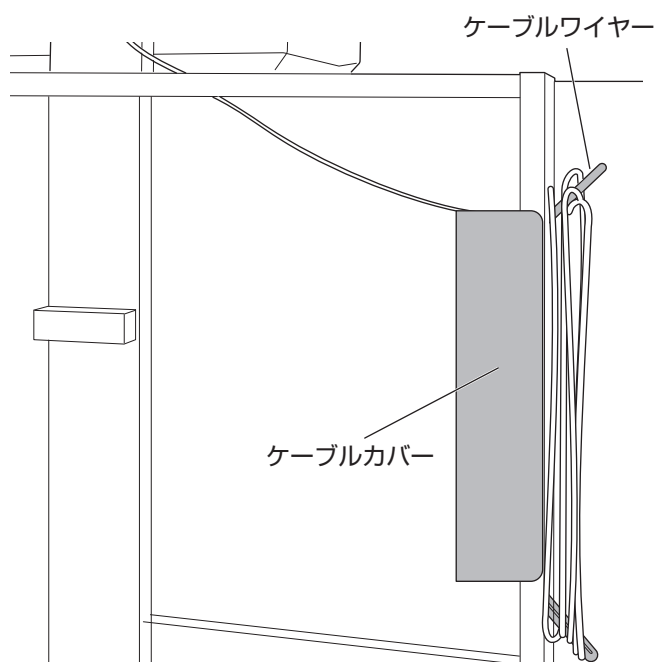


ケーブルを整理する

1. ケーブルは、PJアーム背面のケーブル押さえに入れて整理します。



2. スクリーンボード背面のケーブルカバーを通し、ケーブルワイヤーに巻き付けて収納します。

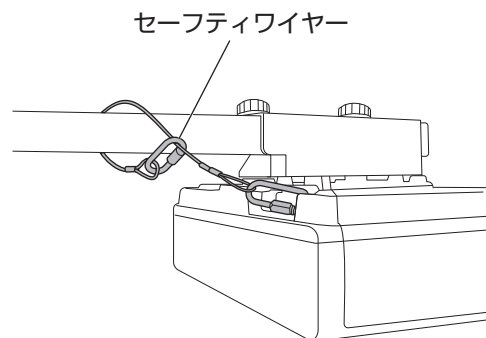


- ◆注記
- ・ガスダンパーなどの稼働部に、ケーブルが干渉しないよう整理してください。チルト操作時にケーブルがはさまって断線するなど破損の原因になります。プロジェクターの電源ケーブルやパソコン接続ケーブルが短い場合は、延長ケーブルをご用意ください。
 - ・ケーブルカバー内には無理にケーブルを収納しないでください。スクリーンボード背面が押され、投影画面がゆがむ原因となります。

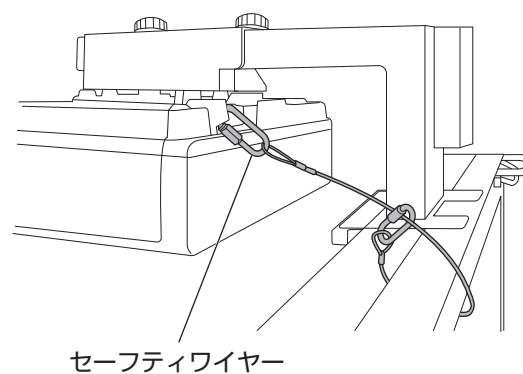
セーフティワイヤーを取り付ける

1. セーフティワイヤーを取り付けるときは、PJアームまたは本体フレームに巻き付けて固定します。

PJアームに巻き付けるとき



本体フレームに巻き付けるとき



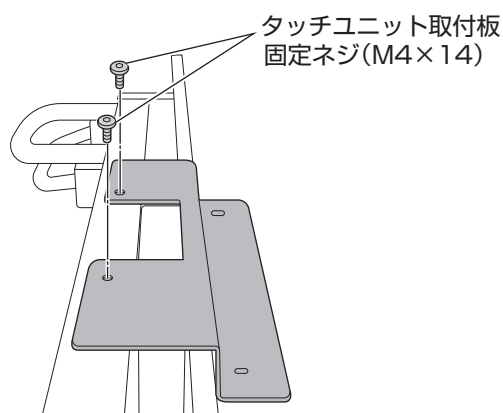
※スクリーンボード背面に、VESA対応一体型キット(ST40E用)を使用してPCを取り付けることができます。(対応PC: ST40E)

タッチユニットを取り付ける

🔍参照 プロジェクターの機種によって、タッチユニット同梱の有無があります。タッチユニットの同梱がない機種は、タッチユニット取付板の取り付けは不要です。

1. タッチユニット取付板をネジ2個でスクリーンボードに取り付けます。

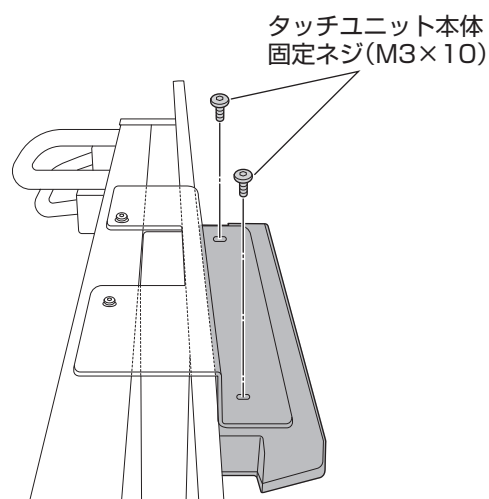
- ③ タッチユニット取付板×1個使用
- ⑥ タッチユニット取付板固定ネジ(M4×14 セムス P=3)×2個使用



2. タッチユニットをネジ2個で取り付けます。

- ・タッチユニットをスクリーンボードに押さえつけながら、密着させて固定してください。

- ⑦ タッチユニット本体固定ネジ(M3×10 セムス P=3)×2個使用



🔍参照 タッチユニットのキャリブレーションは、スクリーンボードをチルトしてテーブルの状態に行ってください。詳細はプロジェクター本体の取扱説明書を参照してください。

PJハンガーをセットする

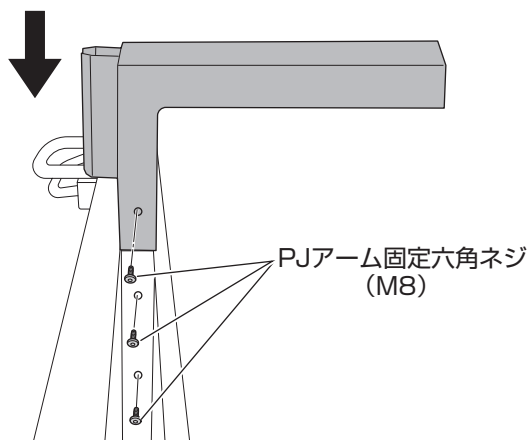
PJアームを取り付ける

1. PJアームを本体に差し込み、PJアーム固定六角ネジで6か所を固定します。ネジがしっかり締まっていることを確認してください。

⑥ PJアーム固定六角ネジ(ローヘッド M6) × 6個使用

⑨ 六角レンチ(小)

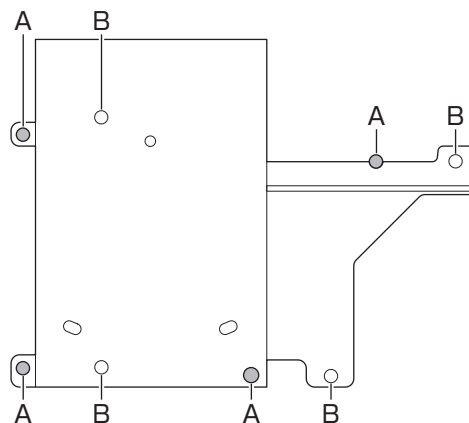
- ・ PJハンガーの差し込み口が正面を向くようにセットしてください。



PJハンガーを取り付ける

PJハンガーを取り付ける前に…

EB-1485FT/EB-800系プロジェクターの取り付けに使用するPJハンガーの取り付け穴は、右記イラストのA位置の4か所です。取り付け穴が誤っていると、投影画面の調整に影響を及ぼします。正しく取り付けてください。

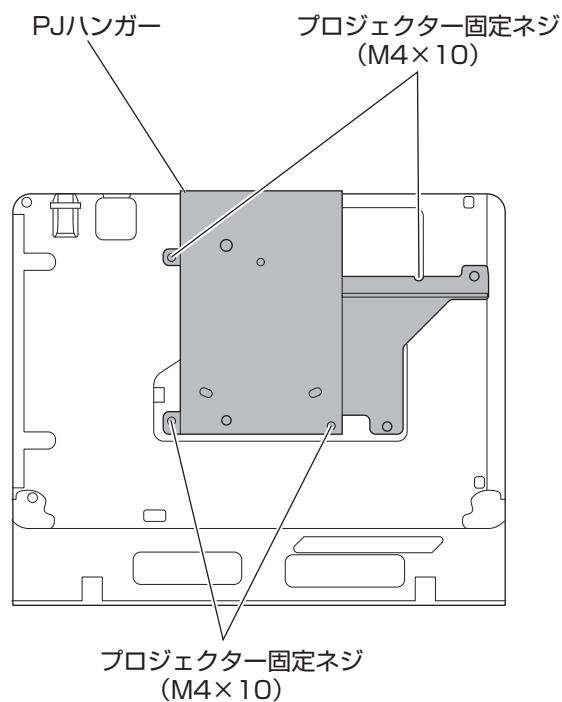


1. PJハンガーをイラストのようにセットします。プロジェクター固定ネジを穴から差し込み、4か所を固定します。ネジがしっかり締まっていることを確認してください。

⑧ プロジェクター固定ネジ(M4×10 セムスP=3)×4個使用

- ・プロジェクター本体や、作業台にキズが付かないよう注意してください。
- ・固定前に、必ずプロジェクターの前後を確認してください。
- ・PJハンガーを分解しないでください。
- ・先端にマグネット付きのドライバーをお使いください。

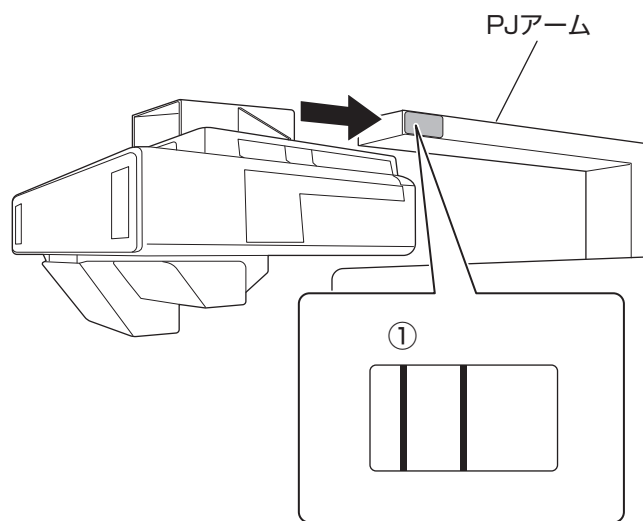
※ プロジェクター固定ネジのネジ穴には多少あそびがあるため、PJハンガーとプロジェクターが直角になるように取り付けてください。



PJハンガーをPJアームに取り付ける

1. プロジェクターを取り付けたPJハンガーをPJアームに差し込みます。

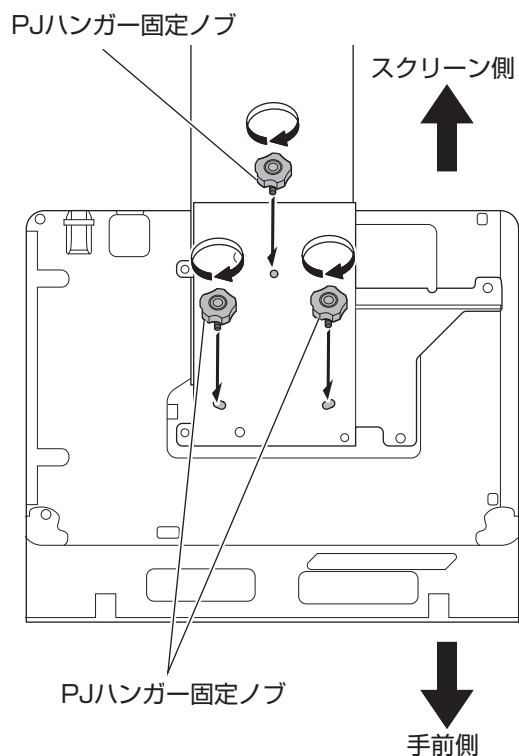
- ・ プロジェクターの前後を確認してください。
- ・ PJアーム側面に表示された「プロジェクターに近い線(①)」に、PJハンガーの先端を合わせてください。



EB-700系

2. PJハンガーのネジ穴に、PJハンガー固定ノブを3個差し込んで締めます。

④ PJハンガー固定ノブ×3個使用



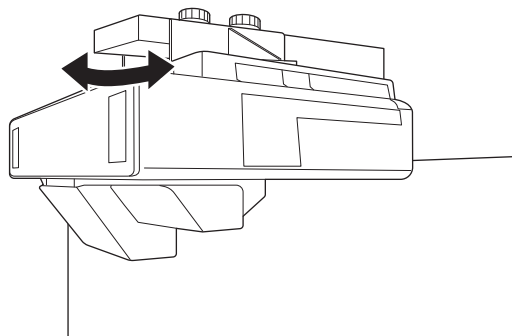
EB-1485FT/EB-800系

投影画面を調整する

プロジェクターに内蔵されているテストパターンか、パソコンを接続して画像を投影し画面を調整します。プロジェクターにデジタル補正や台形補正などを設定している場合は、すべて初期化して補正されていない状態にしてください。

プロジェクター位置の調整(左右)

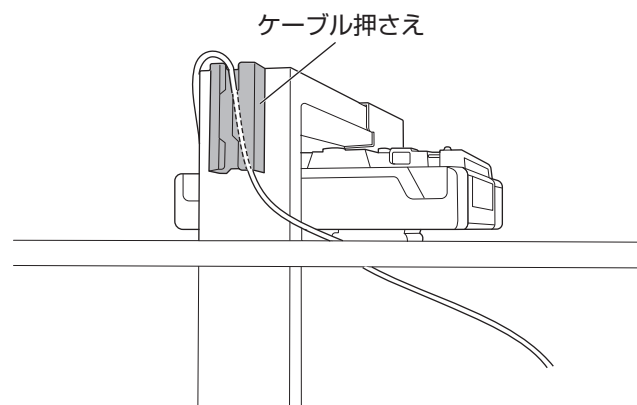
1. プロジェクターの電源をONにして画像を投影します。
2. PJハンガー固定ノブを緩め、プロジェクターを左右方向に動かします。
3. 映像が水平になったらPJハンガー固定ノブを締めます。
 - ・PJハンガー固定ノブを締めるときは、PJハンガーが動かないよう手で押さえてください。



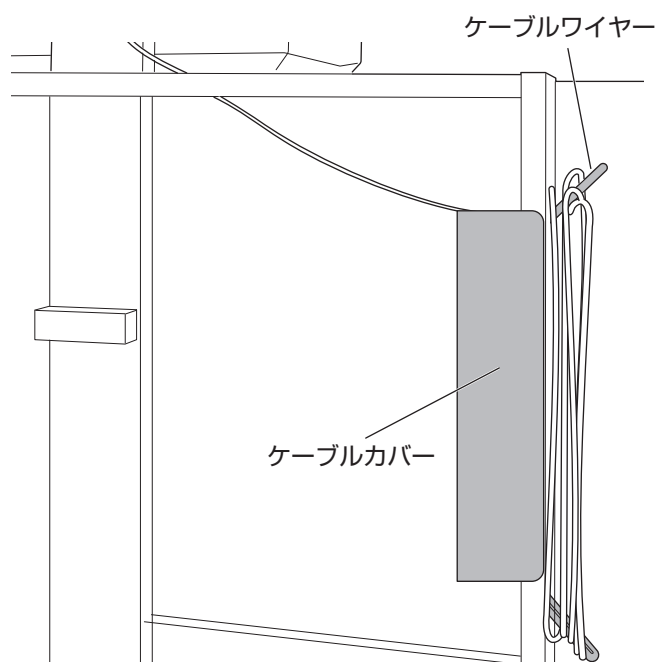
🔍参照 映像の微調整は、プロジェクター本体のデジタル補正機能をお使いください。詳しくはプロジェクター本体の取扱説明書を参照してください。

ケーブルを整理する

1. ケーブルはPJアーム背面のケーブル押さえに入れて整理します。



2. スクリーンボード背面のケーブルカバーを通し、ケーブルワイヤーに巻き付けて収納します。

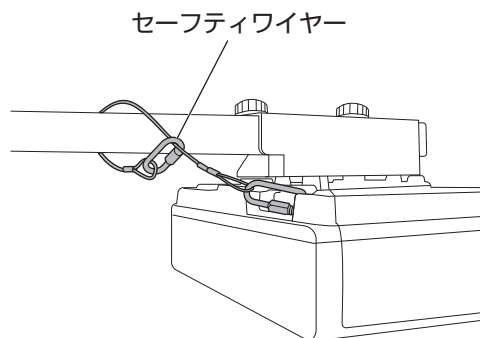


- ◆注記
- ・ガスダンパーなどの稼働部に、ケーブルが干渉しないよう整理してください。チルト操作時にケーブルがはさまって断線するなど破損の原因になります。プロジェクターの電源ケーブルやパソコン接続ケーブルが短い場合は、延長ケーブルをご用意ください。
 - ・ケーブルカバー内には無理にケーブルを収納しないでください。スクリーンボード背面が押され、投影画面がゆがむ原因となります。

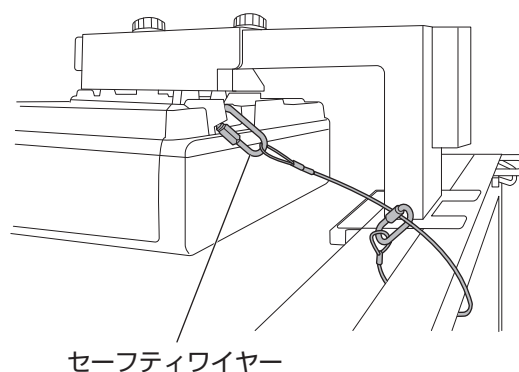
セーフティワイヤーを取り付ける

1. セーフティワイヤーを取り付けるときは、PJアームまたは本体フレームに巻き付けて固定します。

PJアームに巻き付けるとき



本体フレームに巻き付けるとき



※スクリーンボード背面に、VESA対応一体型キット(ST40E用)を使用してPCを取り付けることができます。(対応 PC : ST40E)

製造元・問い合わせ先

泉 株式会社 樹脂事業部 東京樹脂課 〒141-0021 東京都品川区上大崎三丁目1番1号 JR 東急目黒ビル 15F TEL : (03) 5719-7482